

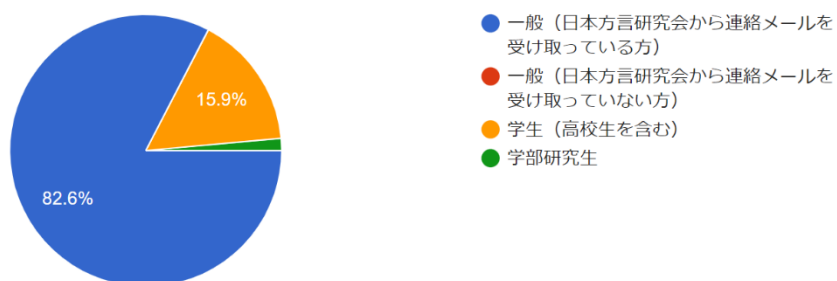
第 113 回日本方言研究会研究発表会

オンライン開催 大会参加者アンケート結果

2021.11.07 作成
研究発表会委員会
オンライン開催 WG

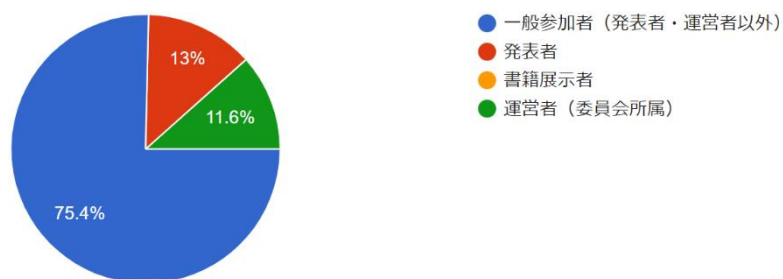
Q2 参加種別について、あてはまるものを選んでください。（「一般」は学生以外を指します）

69 件の回答



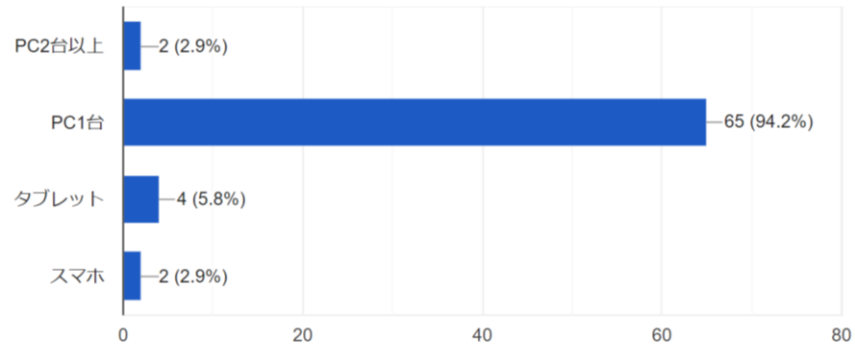
Q3 参加役割について、あてはまるものを選んでください。

69 件の回答



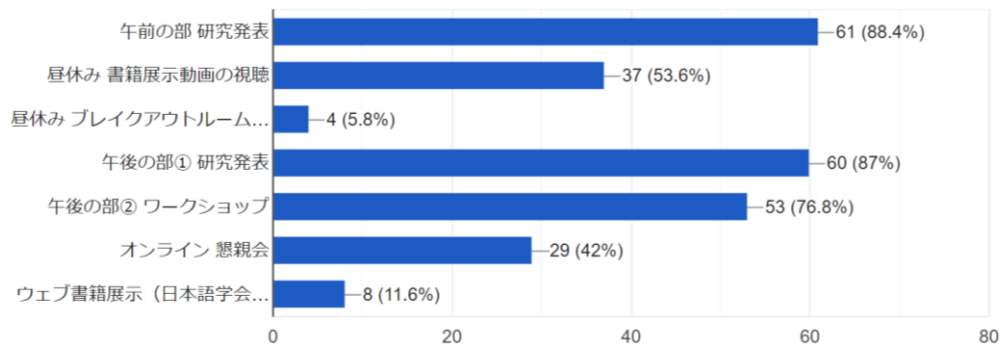
Q4 参加に際して利用した機材をお答えください。(複数回答可)

69 件の回答



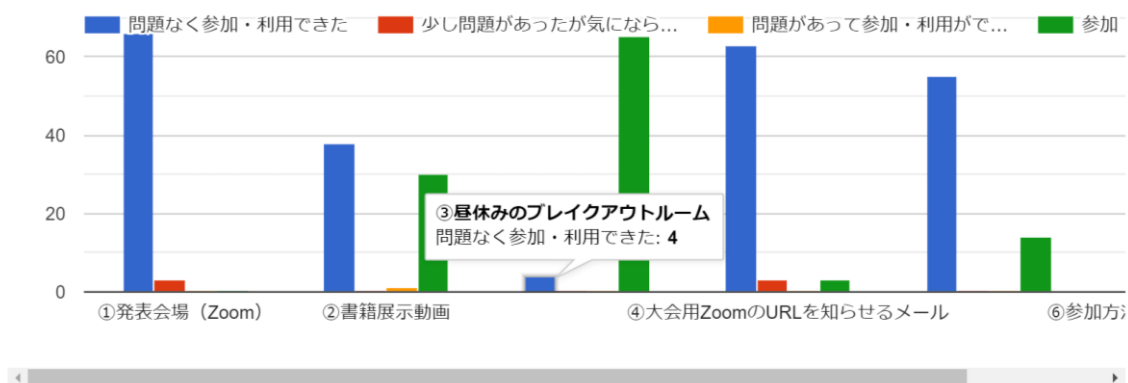
Q5 参加した企画について、あてはまるものを選んでください。(複数回答可)

69 件の回答



Q6-1 以下の会場・システム等の参加・利用に問題はありませんでしたか。

①発表会場(Zoom), ②書籍展示動画, ③昼休みのブレイクアウトルーム, ④大会用 Zoom の URL を知らせるメール



青:問題なく参加・利用できた

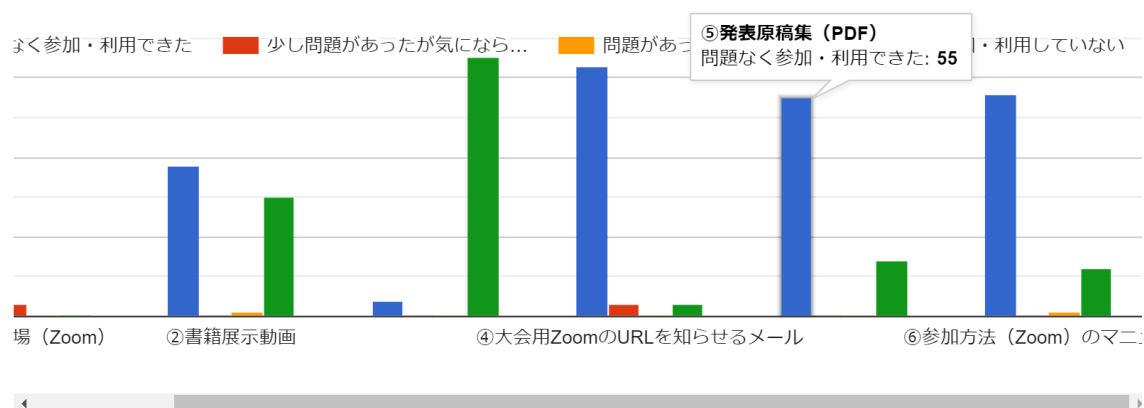
赤:少し問題があったが気にならなかった

黄:問題が合って参加・利用ができなかった

緑:参加・利用していない

Q6-2 以下の会場・システム等の参加・利用に問題はありませんでしたか。

⑤発表原稿集(PDF), ⑥参加方法(Zoom)のマニュアル



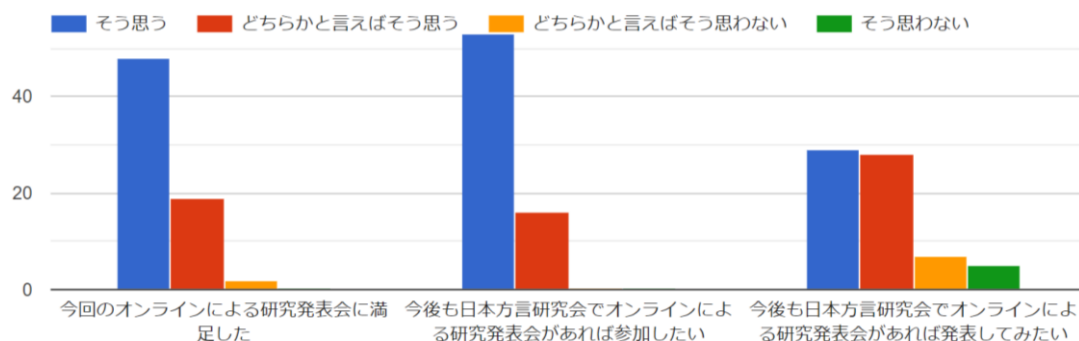
青:問題なく参加・利用できた

赤:少し問題があったが気にならなかった

黄:問題が合って参加・利用ができなかった

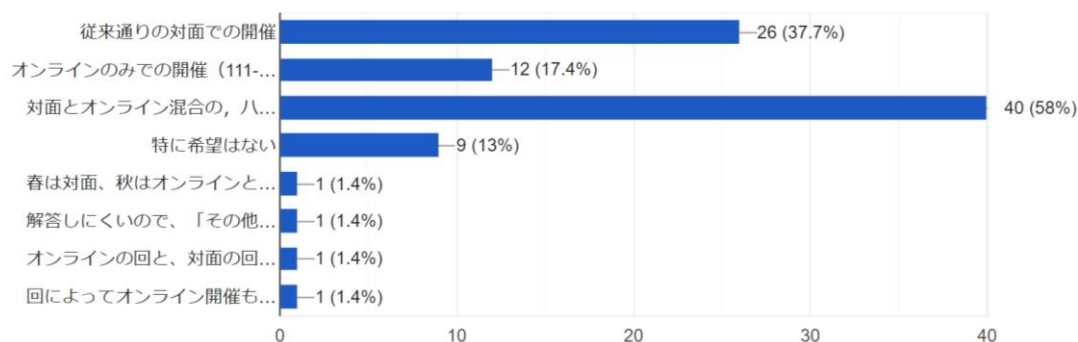
緑:参加・利用していない

Q8 オンラインによる研究発表会について、あてはまるものをお答えください。



Q9 今後の研究発表会の開催形態についてのご希望について、ご記入ください。（開催形態の決定には複雑な要素が絡みますので、このアンケート結果のみで決めることはできません。その点、ご了承ください。）

69件の回答



Q9 開催形態の「その他」（いずれも回答数1）

春は対面、秋はオンラインというように回によって開催形態を変えてはどうでしょうか。

解答しにくいので、「その他」にしました。

オンラインの回と、対面の回を交互に実施

回によってオンライン開催もしくは対面のいずれかの開催とし、オンライン開催の回には国際大会とするなどメリットを活用する。

その他の記述部分は割愛。

以上。